

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年09月13日

計画の名称	JR東貝塚駅西側地区都市再生整備計画													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和05年度（4年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	貝塚市													
計画の目標	JR東貝塚駅は現在、東側にしか駅改札がなく、バリアフリーも未実施の状況である。さらに、バスが停車できる駅前広場もなく、バス停留所も駅改札から離れていることから、障害者や高齢者等をはじめ誰もが利用しやすいよう改善が必要であり、また、JR東貝塚駅西側地区内では新たな商業施設及びスポーツ施設が開業していることから、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりが求められている。 このような状況の中、鉄道事業者による駅構内のバリアフリー化に伴い駅西側に改札口の新設の計画があるため、改札口の位置に合わせ、バスがアクセスでき、滞在快適性等向上区域の拠点となる駅前広場や、区域内を環状化する道路及び駐輪場の整備を行うことで、地区内を歩行者が快適に周遊でき、居心地が良く過ごせるような賑わい溢れるまちづくりや、既設歩道のバリアフリー化による障害者や高齢者等はもちろん歩行者の誰もが安心して円滑に移動できる利便性の高い駅周辺の再生を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		729	A	729	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29・R1・R2当初)		(R5末)
1	JR東貝塚駅の乗降者数を4894人／日（H29）から5200人／日（R5）に増加 JR東貝塚駅における乗降者数を測定する。			
		4894人／日	人／日	5200人／日
2	西側地区周辺（日紡前線）における歩行者通行量を200人／日（R2）から300人／日（R5）に増加 西側地区周辺（日紡前線）における歩行者数を測定する。			
		200人／日	人／日	300人／日
3	歴史展示館の入場者数を1110人／年（R2）から1470人／年（R5）に増加 歴史展示館の入場者数を測定する。			
		1110人／年	人／年	1470人／年
4	駅周辺道路における安全・安心度を14％（R1）から50％（R5）に増加 高齢者及び障害者を行うアンケート調査にて安全・安心度を測定する。			
		14%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	貝塚市	直接	貝塚市	-	-	JR東貝塚駅西側地区都市 再生整備計画事業	駅前広場整備、道路整備等	貝塚市	■	■	■	■		729		未策定	
												小計						729		
											合計						729			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
貝塚市が事後評価を実施	令和6年度
	公表の方法
	貝塚市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	JR東貝塚駅における乗降客数は、新型コロナウイルスの影響により、減少したが、周辺道路については、目標値以上の歩行者数となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	JR東貝塚駅のバリアフリー化と同時に、本事業における駅前広場や周辺道路の整備により、JR東貝塚駅へのアクセス向上が図られ、利便性を高めることができた。
○特記事項（今後の方針等）	
整備された道路の適切な維持管理に努め、安全な通行環境を確保する。	

○ 目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	JR東貝塚駅の乗降者数を4894人 / 日（H29）から5200人 / 日（R5）に増加	
	最 終 目標値	新型コロナウイルスの影響や、リモートワーク等の対応が可能となり、電車利用者の減少となった。
	5200人 / 日	
2	最 終 実績値	4688人 / 日
	300人 / 日	
	最 終 実績値	467人 / 日
3	西側地区周辺（日紡前線）における歩行者通行量を200人 / 日（R2）から300人 / 日（R5）に増加	
	最 終 目標値	1470人 / 年
	1470人 / 年	
4	最 終 実績値	1801人 / 年
	50%	
	最 終 実績値	55%
	駅周辺道路における安全・安心度を14%（R1）から50%（R5）に増加	
	最 終 目標値	
	最 終 実績値	

都市再生整備計画 事後評価シート

JR東貝塚駅西側地区

令和7年2月

大阪府貝塚市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名		貝塚市		地区名		JR東貝塚駅西側地区			面積		22.3ha		
交付期間	令和2年度～令和5年度		事後評価実施時期		令和6年度		交付対象事業費		729百万円		国費率		0.5			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名														
		基幹事業	○道路:(仮称)市道東貝塚駅前線道路整備、市道日紡前線拡幅、市道日紡前線歩道拡幅 ○地域生活基盤施設:駅前広場整備、駐輪場整備 ○高質空間形成施設:点字ブロック設置													
		提案事業	○地域創造支援事業:駐輪場整備(ボックスカルバート整備)													
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業														
		提案事業	○地域創造支援事業:駐輪場整備(ボックスカルバート整備)				当初提案事業としていたが、基幹事業としたため									
	新たに追加した事業	基幹事業	○地域生活基盤施設:緑地				歩行者が快適に周遊し、居心地が良く過ごせるような賑わい溢れるみどり豊かなまちづくりが必要だったため				指標追加:歩行者通行量					
		提案事業														
	交付期間の変更	当初				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
		変更														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	JR東貝塚駅の乗降者数	人/日	4,894	H29	5,200	R5		4,688	△	あり なし ○	新型コロナウイルスの影響や、リモートワーク等の普及により、相対的に鉄道利用者が減少傾向となった。				
	指標2	歩行者通行量	人/日	200	R2	300	R5		467	○	あり なし	駅前広場や歩道の整備に伴い、利便性が向上し、歩行者通行量が増加した。				
	指標3	歴史展示館の入場者数	人/年	1,110	R2	1,470	R5		1,801	○	あり なし	都市再生整備計画区域内にある歴史展示館(博物館)において、周辺の歩行環境が改善されたことにより、来場者が増加した。				
	指標4	高齢者や障害者の安全・安心度の増加	%	14	R1	50	R5		55	○	あり なし	令和元年度実施のタウンウォッチング調査で抽出された駅周辺道路における安全・安心についての課題が改善された。				
	指標5										あり なし					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値								
	その他の数値指標1															
	その他の数値指標2															
その他の数値指標3																
4)定性的な効果発現状況																
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	官民連携による取組				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	持続的なまちづくり体制の構築				貝塚市JR東貝塚駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会による事業の取組状況や現地確認の実施 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 今後課題等が生ずれば、必要に応じて協議会を開催する。							

様式2-2 地区の概要

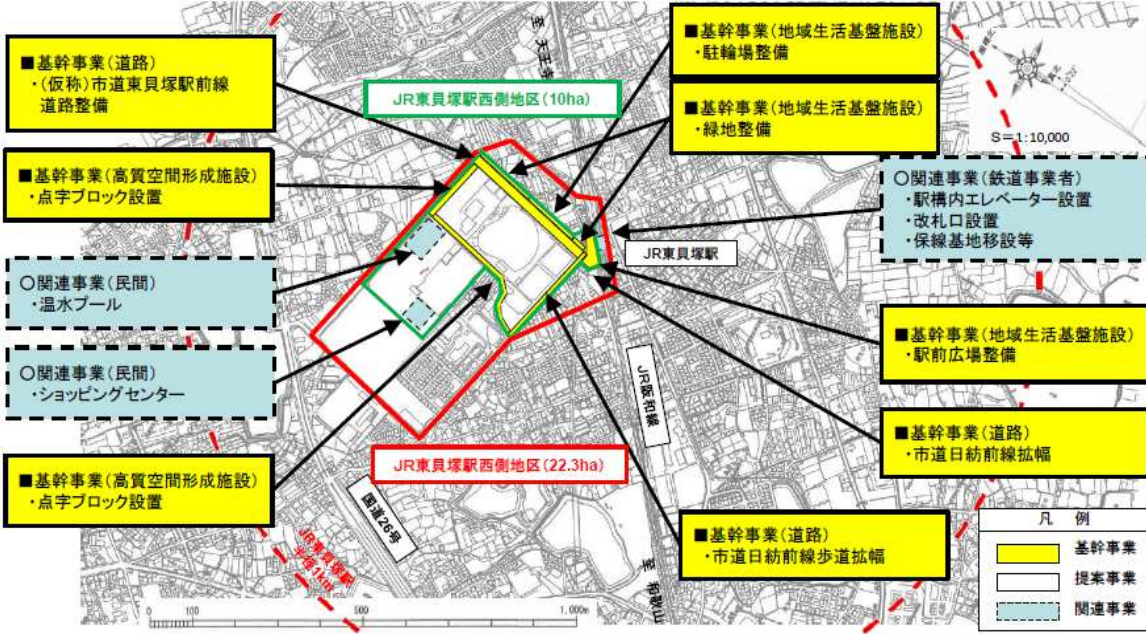
JR東貝塚駅西側地区（大阪府貝塚市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：障害者や高齢者が安心して移動できる利便性の高い駅周辺の再生を図る。 目標1：障害者や高齢者をはじめとする駅利用者の安全性・利便性の向上を図る。 目標2：交通安全性や歩行者の快適性の向上を図る。 目標3：駅利用者の駅西側地区へのアクセスを向上させ、駅周辺の活性化を図る。		JR東貝塚駅の乗降者	単位：人/日	4,894	H29	5,200	R5	4,688	R6
		歩行者通行量	単位：人/日	200	R2	300	R5	467	R6
		歴史展示館の入場者数	単位：人/年	1,110	R2	1,470	R5	1,801	R6
		高齢者や障害者の安全・安心度の増加	単位：%	14	R1	50	R5	55	R6



市道東貝塚駅前線道路整備



周辺道路を活用したイベント



■基幹事業（道路）
・（仮称）市道東貝塚駅前線道路整備

■基幹事業（高質空間形成施設）
・点字ブロック設置

○関連事業（民間）
・温水プール

○関連事業（民間）
・ショッピングセンター

■基幹事業（高質空間形成施設）
・点字ブロック設置

■基幹事業（道路）
・市道日紡前線歩道拡幅

■基幹事業（道路）
・市道日紡前線歩道拡幅

■基幹事業（地域生活基盤施設）
・駐輪場整備

■基幹事業（地域生活基盤施設）
・緑地整備

○関連事業（鉄道事業者）
・駅構内エレベーター設置
・改札口設置
・保線基地移設等

■基幹事業（地域生活基盤施設）
・駅前広場整備

■基幹事業（道路）
・市道日紡前線拡幅

凡 例

■ 基幹事業

■ 提案事業

■ 関連事業



駅前広場の整備



駐輪場整備

まちの課題の変化	・駅前広場を整備することにより、コミュニティバスが停車可能となり、駅改札へのアクセスも向上した。 ・道路整備等の実施に加え、道路上に植栽や沿道に緑地を整備し、歩行者が快適に周遊し、居心地が良く過ごせるみどり豊かなまちづくりが可能となった。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・歴史展示館によるイベントなどの開催等により、地域における理解や満足度の更なる向上を図る。 ・整備された道路等の適正な維持管理に努め、安全な通行環境を確保する。 ・水間鉄道と東貝塚駅を直接結ぶバス路線を新設し、乗継を改善し、利便性を向上する。